

特別企画 2

HCV Elimination の残された課題 —薬物使用者への HCV 治療支援を考える—

第 2 日目 6 月 6 日 (金) 9:30~11:00

第 8 会場 (ホテルニューオータニ (東京) ザ・メイン 宴会場階 アーチェロ)

司会 持田 智 埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科

考藤 達哉 国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター

SS2-1 薬物依存症患者の HCV 治療推進の意義

埼玉県立精神医療センター精神科 成瀬 暢也 (なるせ のぶや)

SS2-2 刑務所における HCV 感染状況・治療・薬物依存離脱指導の現状

宮城刑務所医務部 新妻 宏文 (にいづま ひろふみ)

SS2-3 刑務所出所者に対してどう情報提供を行うか?

～保護観察から地域精神保健福祉への橋渡しの試みから～

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

薬物依存研究部 松本 俊彦 (まつもと としひこ)

SS2-4 埼玉県における薬物依存患者への C 型肝炎治療の取り組みと今後の課題

埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科 内田 義人 (うちだ よしひと)

SS2-5 山口県における HCV elimination を目指した薬物使用者に対する取り組み

山口大学医学部附属病院肝疾患センター/

山口大学大学院医学系研究科消化器内科学 高見 太郎 (たかみ たろう)

SS2-6 HCV 感染症の根絶に向けた薬物依存者への介入：茨城県の取り組みと課題

東京医科大学茨城医療センター消化器内科 池上 正 (いけがみ ただし)

協賛：アッヴィ合同会社